

現在位置：[健康福祉](#) > [健康](#) > 一関市医療と介護の連携連絡会について

[Tweet](#)

シェア

0

[B!](#)

一関市医療と介護の連携連絡会について

少子高齢化により、一関市は平成24年9月に高齢化率30%を超えました。その中で、すべての市民が、健康で心豊かに自立した生活を送るため、保健・福祉・医療の連携強化が一層の課題となっています。

一関市では、平成23年度から「地域医療・介護連携推進事業」を実施し、医療機関、介護サービス事業所等、市民、行政がそれぞれの役割や連携を強化し、地域医療体制の充実を図っています。

在宅医療取組団体等の情報交換会「はじめてのケアカフェ」を開催しました

2月6日（月）一関保健センターを会場に、在宅医療取組団体等の情報交換会「はじめてのケアカフェ」を開催しました。

はじめに、「一関在宅緩和ケア支援ネットワーク（IZAK）」「機能強化型在宅療養支援チームいわい西」「藤沢聞き書き隊」から、それぞれの団体の取組を紹介していただきました。

その後のケアカフェでは、谷藤内科医院（千厩町）院長の谷藤正人先生をカフェマスターに、和やかな雰囲気の中、「あったらいいな こんな在宅医療」をテーマに話し合いが行われました。

ケアカフェの最後には、話し合いの内容を発表し参加者で共有しました。（発表内容はこちら→[テーブル発表内容](#)📄）

今回のケアカフェには、市民や医療機関、介護サービス事業所、行政関係者など57人の参加があり、「他職種の意見を聞く良い機会となった」「今後も継続した開催を望む」「次回も参加したい」などの意見が寄せられました。



2月6日（月）に在宅医療取組団体等の情報交換会「はじめてのケアカフェ」を開催します

在宅医療等に取り組む個人や団体が、現状や課題の共有、「在宅医療・介護」の連携などについて意見を出し合い、医療介護連携を深め、地域の在宅医療等の推進を図ることを目的に開催します。

ケアカフェ形式の開催で、興味のある方はどなたでも参加できます。（入場無料）

- 1 日時 2月6日（月） 午後6時45分～8時30分（予定）
- 2 会場 一関保健センター 多目的ホール（一関市山目字前田13-1） [一関保健センター周辺地図 \[235KB pdfファイル\]](#)
- 3 テーマ 「在宅医療・介護の「わ」をひろげよう」
- 4 参加申込み チラシ裏面により、2/2（木）までにお願います。なお、多数の場合は調整させていただくことがあります。



チラシはこちら → [チラシ.pdf \[136KB pdfファイル\]](#)

- 5 問い合わせ先 健康づくり課地域医療推進係 電話 0191-21-2160 ファクス 0191-21-4656

在宅医療・介護連携市民フォーラムを開催しました

11月19日（土）に「誰もが最期まで安心して暮らすために－在宅医療・介護について考えてみませんか－」をテーマに「在宅医療・介護連携市民フォーラム」を開催しました。

約230人の参加者があり、在宅医療・介護を支える専門職の方々の事例紹介や連携、地域づくりなどの取組を通して、市民の皆さんに「在宅医療・介護」について理解を深めていただきました。

開催報告はこちらから、ご覧になれます。→

<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/28,69766,56,html>

11月6日（日）に「歩ける喜びをいつまでも－高齢者の骨折について－」をテーマ


に研修会を開催します

「歩ける喜びをいつまでも - 高齢者の骨折について -」をテーマに研修会を開催します。

入場無料です。ぜひご参加ください。（事前の申し込みは必要ありません）

1 日時 11月6日（日） 午後2時～4時まで

2 会場 一関保健センター
多目的ホール（一関市山目字前田
13-1）

[一関保健センター周辺地図 \[235KB pdfファイル\]](#)


3 内容

講演及び講師

・医療 骨粗鬆症・転倒と骨折について : 県立磐井病院 院長 加藤博孝 先生、第1神経内科長 川守田 厚 先生

・リハビリ 高齢者の転倒、手術後のリハビリテーション : 国立病院機構岩手病院 理学療法士 黒沢 健 氏

・栄養 栄養改善から行う骨折予防 : 特定医療法人博愛会一関病院 管理栄養士 小原粒子 氏

・施設 生活の中での転倒予防 : 介護老人保健施設やまゆり 理学療法士 佐々木成大 氏

座長

・ 県立磐井病院 地域医療福祉連携室長 川守田 厚 先生

・ 県立磐井病院 副総看護師長 小野寺つや子 氏

4 問い合わせ先 県立磐井病院 地域医療福祉連携室 0191-23-3452



平成28年度「一関市医療と介護の連携連絡会研修会」

【日程/会場】
 ・日 時 : **平成28年11月6日（日） 14:00～16:00**
 ・場 所 : 一関保健センター 多目的ホール（一関市山目字前田13-1）

【テーマ】
『歩ける喜びをいつまでも - 高齢者の骨折について -』

【講演】
 - 講師(4施設) -
（医 療）骨粗鬆症・転倒と骨折について
 県立磐井病院 院長：加藤博孝 氏 / 第1神経内科長：川守田 厚 氏
（リハビリ）高齢者の転倒、手術後のリハビリテーション
 国立病院機構 岩手病院 理学療法士：黒沢 健 氏
（栄 養）栄養改善から行う骨折予防
 特定医療法人博愛会 一関病院 管理栄養士：小原粒子 氏
（施 設）生活の中での転倒予防
 介護老人保健施設やまゆり 理学療法士：佐々木成大 氏

- 座長 -
 ・岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室長 川守田 厚 氏
 ・ 同 副総看護師長 小野寺つや子 氏

◎どなたでもご参加いただけます。
 ◎当日は、会場外に介護用品や医療機器などの展示を行います。
 ご自由にご覧ください。（その場での販売等はいたしません）

現在位置：[健康福祉](#) > [健康](#) > [在宅医療・介護連携市民フォーラムを開催しました](#)

[Tweet](#) 



在宅医療・介護連携市民フォーラムを開催しました

在宅医療・介護連携市民フォーラム（平成28年11月19日）開催報告

誰もが最期まで安心して暮らすために－在宅医療・介護について考えてみませんか－をテーマに「在宅医療・介護連携市民フォーラム」を開催しました。約230人の参加者があり、在宅医療・介護を支える専門職の方々の事例紹介や連携、地域づくりなどの取組を通して、市民の皆さんに「在宅医療・介護」について理解を深めていただきました。

基調講演

基調講演では、「地域包括ケア時代における介護と医療との連携」と題して、県立千厩病院の下沖収院長から講演をいただきました。

講演では、「高齢化社会の現状や今後の人口予測、千厩病院の現状（医師数、救急受け入れ、地域包括ケア病棟など）などについて」話され、この地域の包括ケアシステムを構築するため、「医療介護専門職の関係づくりをさらに深めていく必要がある」と語られました。

パネルディスカッション

「誰もが最期まで安心して暮らすために－いつも在宅、ときどき施設、たまには病院－」をテーマにパネルディスカッションを行いました。はじめに、パネリストから、それぞれの取組などを発表いただき、その後、ディスカッションを行いました。

ディスカッションでは、「在宅療養推進のため、病院、施設など地域資源を活用したサイクルの構築が必要」、「在宅医療、介護のキーとなる看護師、介護員の確保が課題」、「このような療養生活を送りたい」、「最期はこのように迎えたい」など、家族で話し合うことが必要」などの発言がありました。

資料（参加者への配布資料）

基調講演配付資料

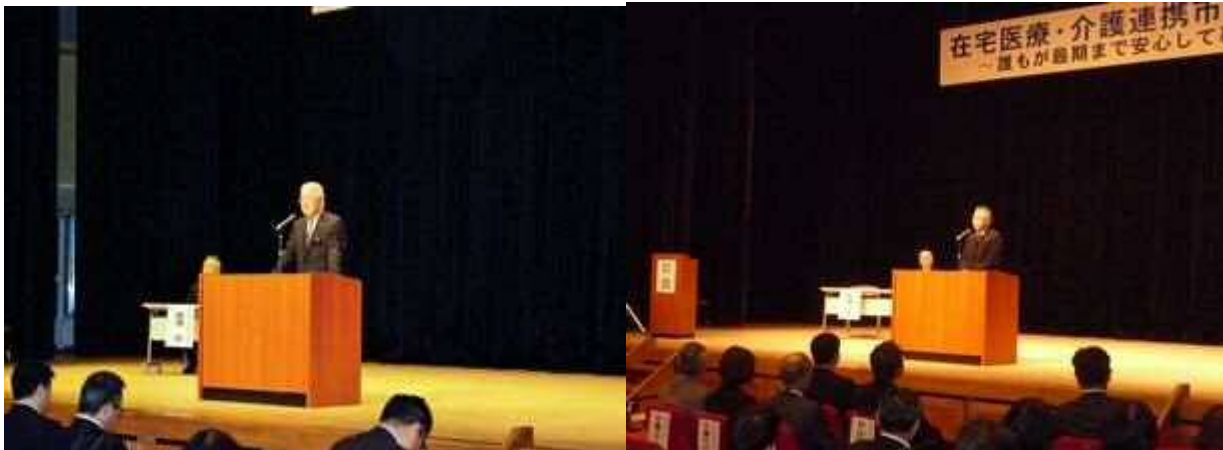
[基調講演資料.pdf \[99KB pdfファイル\]](#) 

パネルディスカッション配布資料

[パネルディスカッション資料.pdf \[2810KB pdfファイル\]](#) 

在宅医療・介護連携に係る参考資料

[在宅医療・介護連携に係る参考資料.pdf \[1433KB pdfファイル\]](#) 



主催者あいさつ 勝部市長
会幹事長

長澤茂一関市医療と介護の連携連絡



基調講演を行う県立千厩病院下沖収院長

パネルディスカッションの様子

1 開催日時

平成28年11月19日（土） 午後1時30分～4時

2 場所

東山地域交流センター （一関市東山町長坂字町335-1）

3 テーマ

「誰もが最期まで安心して暮らすために - 在宅医療・介護について考えてみませんか - 」

4 目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、

「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が推進

され、包括的かつ継続的な「在宅医療・介護」の提供、住民参加による支え合いの地域づくりが重要となっています。

フォーラムでは、在宅医療・介護を支える専門職の連携、地域づくり取り組みを通して、「在宅医療・介護」について、市民のみなさんと医療・看護・介護などの関係者が共に理解を深めることを目的に開催します。

5 プログラム [こちらからご覧になれます](#)

[\[923KB pdfファイル\]](#)

基調講演 (13:40~14:40) 「地域包括ケア時代における介護と医療との連携」 講師 岩手県立千厩病院 下沖 収 院長

パネルディスカッション (14:45~16:00)
 テーマ 「誰もが最期まで安心して暮らすために -いつも在宅、ときどき施設、たまには病院-」

<パネリスト>

(1)岩手県立大東病院 杉山照幸 院長

(2)谷藤内科医院 谷藤正人 院長

(3)ふじさわ訪問看護ステーション 千葉千代美 看護師長

(4)一関市保健福祉部長寿社会課 生活支援コーディネーター 佐藤 伸

<助言者> 岩手県立千厩病院 下沖 収 院長

<座長> 一関中央クリニック 長澤 茂 院長 (一関市医療と介護の連携連絡会幹事長)

6 主催

一関市 一関市医療と介護の連携連絡会

7 参加料

無料です。どなたでも参加できますので、ご近所お誘い合わせの上、ご参加ください。

在宅医療・介護連携市民フォーラム 入場無料

誰もが最期まで安心して暮らすために
 —いつも在宅、ときどき施設、たまには病院—

基調講演 (13:40~14:40) 「地域包括ケア時代における介護と医療との連携」
 講師 岩手県立千厩病院 下沖 収 院長

パネルディスカッション (14:45~16:00)
 テーマ 「誰もが最期まで安心して暮らすために -いつも在宅、ときどき施設、たまには病院-」

パネリスト
 ● 杉山 照幸 (岩手県立大東病院 院長)
 ● 谷藤 正人 (谷藤内科医院 院長)
 ● 千葉 千代美 (ふじさわ訪問看護ステーション 看護師長)
 ● 佐藤 伸 (一関市保健福祉部長寿社会課 生活支援コーディネーター)

日時 11月19日 午後1時30分~4時
 会場 東山地域交流センター

このコンテンツに関連するキーワード [介護・高齢者](#) [国民健康保険](#) [暮らし](#) [街づくり](#) [高齢者](#) [介護保険](#) [健康づくり](#) [保健・衛生・医療](#)